

県議会通信

発行者 県議会議員 内野 幸喜

発行所 玉名郡長洲町清源寺393-1

TEL 0968-78-6571 FAX 0968-78-6580

E-mail: k-ucn@nifty.com

URL: http://www.k-uchino.com

ご挨拶



県議会議員
内野 幸喜

新緑の候、皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

また、地域の皆様方には、日頃より心温まるご指導を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、震度七を二度記録するという未曾有の大震災、熊本地震の発生から一年が経過しました。改めて、犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

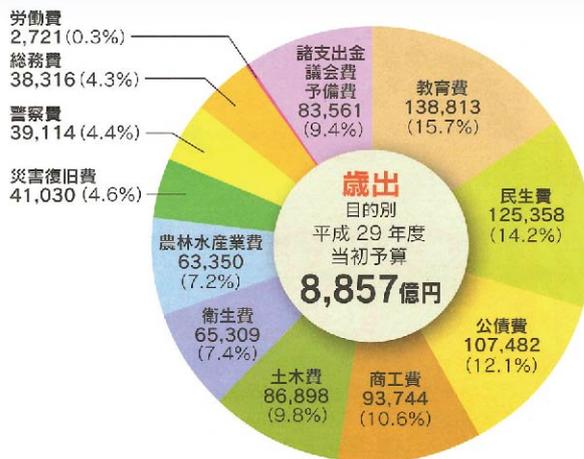
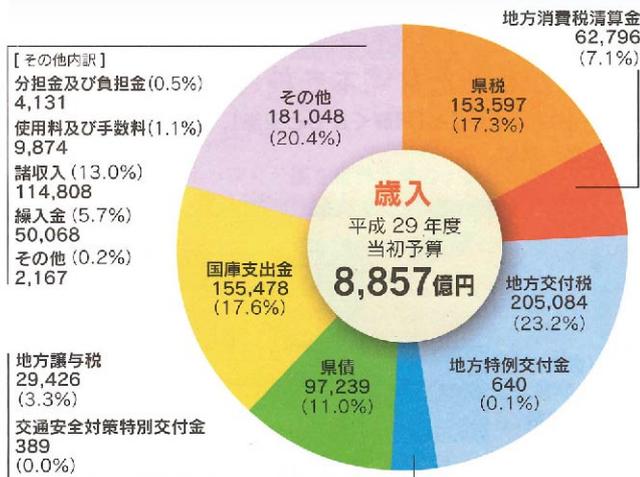
私自身、昨年度は、県議会経済環境常任委員会の委員長として、熊本地震により発生した「災害廃棄物の処理」、被災した中小企業等への支援策「グループ補助金」、落ち込んだ観光客の回復を図る「九州ふっこう割」等の施策展開に力を注いできました。

しかしながら、熊本地震から一年が経過した今でも、復旧・復興は緒に就いたばかりというのが現状です。被災された方々の生活再建と、被災地の創造的復興なしには、熊本の発展はあり得ません。傷ついた熊本を一日も早く復活させ、これまでの流れを取り戻し、更なる発展に向けた取組みを進めることが重要です。

こうしたことから、平成二十九年年度の当初予算は、県政史上最大となる八千八百五十七億円となりました。復興元年となる今年度、熊本地震からの復旧・復興の迅速且つ着実な推進に向け、県と県議会一体となり、引き続き様々な施策に全力で取り組んで参ります。

最後になりましたが、今回の県議会通信では、その当初予算の概要と、三月八日に行った二月定例県議会における一般質問の概要を掲載しています。是非、ご一読頂ければ幸いです。今後とも、ご指導、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

平成 29 年度当初予算の概要



単位: 百万円
()内は構成比 (%)

2 月定例会で一般質問 平成29年3月8日

1 くまもと型防災教育の導入

質問 熊本地震の発生から11ヶ月が経とうとしている。当時の揺れの恐ろしさは今でも鮮明に覚えている。こうした記憶や感覚を持ち続けていくことが防災意識の向上には必要だ。しかし、記憶や感覚、関心といったものは、長い年月を経ていくうちに自然と薄れていくのも事実だ。だからこそ、熊本地震を経験した今、災害の記憶を後世に残していく、風化させない取組が重要だ。

県内の各小中学校の多くでは、独自の防災教育を実施しているが、定期的実施されているケースはわずかだ。熊本地震を経験した本県としては、更なる防災教育の充実が必要でないか。

例えば、毎月16日を本県独自の防災教育の日と定め、毎月1時間、夏休み期間等を除き、本県の義務教育課程の全ての学校において防災教育を複数回実施する「くまもと型防災教育」を導入するというのはいかがか。小中学校の段階から災害発生時の心構えが自然と身に付き、防災意識の向上にも繋げられる。特に、熊本地震という未曾有の大震災を経験した本県として、独自の防災教育を行い、全国へと発信していくことも必要だ。

そこで、①防災教育についての考えと、②私が提案する「くまもと型防災教育」の導入について、知事に尋ねる。

答弁 (知事) ①子どもたちがどんな環境の中でも「今何をすべきか」「何ができるのか」を自ら考え、主体的に行動する力を育むためにも、学校における防災教育は重要である。そのため、県立学校に防災型コミュニティ・スクールを導入し、地域との連携体制や防災システムの構築を目指すほか、熊本地震デジタルアーカイブの作成や、震災ミュージアムのあり方について検討を進め、学校での防災教育に活用して欲しいと考える。②議員提案の「くまもと型防災教育」の導入については、熊本地震の経験を将来に語り継ぐ仕組みとして大変意義深いと考える。「くまもとモデル」として、具体的な内容や方法については、市町村等の意見を聞きながら検討してまいらる。

2 あらゆる状況に備える 医療提供体制の構築

質問 熊本地震では、県内の医療機関の約5割の施設が何らかの被害を受けた。特に、損傷が激しく、倒壊の恐れもあった熊本市市民病院では、多くの入院患者の方々や、病院スタッフの迅速且つ的確な判断により、県内外の他の病院へと搬送された。

本県では、高度な医療を対象としている医療機関の全てが、熊本市内に所在しているという医療提供体制の特徴がある。三次救急医療機関となる救命救急センターである3つの医療機関も、全て熊本市内に所在している。

他県はどうか。隣県の福岡県の場合、救命救急センターとなっている医療機関は10医療機関だ。内訳は、福岡市内に4つ、北九州市内に2つ、久留米市内に2つ、飯塚市内と古賀市内にそれぞれ1つと、比較的県内各地に分散して所在している。本県より人口の少ない佐賀県と長崎県も同様だ。佐賀県の場合、救命救急センターは4医療機関だ。内訳は、佐賀市内に2つ、唐津市内に1つ、嬉野市内に1つとなっている。長崎県の場合も、3つの救命救急センターの医療機関は、長崎市内に1つ、佐世保市内に1つ、大村市内に1つと、県内各地に分散して所在している。

こうして他県と比べると、本県の場合、高度な医療を対象としている医療機関の全てが、如何に熊本市内に一極集中しているかが判る。県民の高度医療に対する安心感醸成のため、「あらゆる状況に備える医療提供体制の構築」が求められているが、災害時等のリスクを考えると、救命救急センターが、熊本市内のみに一極集中するよりも、県北と県南にも分散して設置されていることが望ましいのでは。

そこで、①熊本地震時に救命救急センターが果たした役割は、②同センターは、リスク管理の上で熊本市外での整備を検討することが必要でないか、以上2点を健康福祉部長に尋ねる。

答弁 (健康福祉部長) ①本県の救命救急センターは、DMATを派遣するなど、災害拠点病院としての役割も担っている。熊本地震においては、8千人を超える救急患者を受け入れるとともに、6チームのDMATも派遣し、県民の救命活動に大きな役割を果たした。②救急医療のあり方として、どの地域に住んでいても、患者の症状に応じ、初期救急から三次救急の役割

が十分機能することが重要である。今後の同センターの整備については、熊本地震による影響等を踏まえ、消防や医療機関による現状の分析と評価を行う必要がある。県としては、被災した救急医療機関の 1 日も早い復旧に全力をあげ、来年度策定予定の次期保健医療計画において、今後のあり方を検討してまいる。

3 南関高校の跡地利活用

質問 私は、3月1日に行われた南関高校の卒業式、その後に行われた閉校式にそれぞれ出席した。創立以来89年の歴史を有する南関高校最後の卒業生15名が、3年間慣れ親しんだ学び舎を逞しく、気高く巣立っていく姿を見届けることができた。

15名の卒業生は、南関高校が閉校することが決定した後に入学した生徒達だ。生徒達は、閉校となる創立89年に向けて、有終の美を飾るべくこの3年間、「南高伝説」と銘打ち、様々な活動に取り組んできた。

私は、生徒達が、89年に及ぶ南関高校の歴史と伝統を、閉校後も、しっかりと地域に根差し、受け継がれ、輝き続けていく「南高伝説」として見事に創り上げ、その務めを果たしてくれたことに、大きな感動を覚えた。

このように、地域の誇りであり、地域に愛され、発展してきた南関高校が3月をもって閉校となることは、残念で寂しいことだ。

そこで、現在、南関町では、南関高校の閉校後の跡地を、引き続き地域の方々に愛され、役に立つ、町のシンボルとなる施設としての利活用ができないか検討している。

具体的には、新しい役場庁舎などの、まちづくりの拠点となる南関町コンパクトシティ構想の中心に位置づけ、検討に入っている。

県では、「熊本復旧・復興4カ年戦略」で、「高校再編後の校地・校舎については、地元市町への無償譲渡を基本に検討するとともに、地域の活性化に向けた取組みを関係市町村等と連携して進める」と明記されているが、これは、南関町のコンパクトシティ構想に合致するものとする。

そこで、この3月末で閉校となる南関高校の跡地利活用について、無償譲渡を含め、県の考えを知事に尋ねる。

答弁 (知事) 県では、地方創生を推進する観点から、市町村が進める「地域の小さな拠点づく

り」を支援している。南関町では、老朽化した庁舎等の建替えの候補地として、南関高校跡地を挙げられており、県としては、町が具体的な計画を策定し、公用又は公共用として活用していく中で、無償譲渡を基本に検討してまいる。町は、県教委との意見交換で、まち・ひと・しごと創生総合戦略の拠点として、地域の活性化や支え合いの仕組みづくりを目指している。閉校跡地を活用した新たなまちづくりは非常に大事であり、町と連携し、実現に向け一緒に取り組んでまいる。

4 竹林の整備と地域資源を活用した循環型社会の実現

質問 竹林は、管理されていない荒廃竹林が多く、地域の里山を侵食し、景観の破壊や、多面的機能を持つ森林の荒廃にも繋がっている。本県において、荒廃竹林の放置することは、県土面積の約6割を占める森林資源への影響も大きい。荒廃竹林を美しい里山へと再生させるには、竹林整備にとどまらず、簡易作業道の開設整備も必要だと考える。そこで、本県の竹林の現状と対策について、農林水産部長に尋ねる。また、竹の利用価値を高めることが、荒廃竹林の減少、竹資源の活用拡大へと繋がると考える。南関町にて、竹に着目した地域循環型のビジネスモデルが動き出している。3つの会社からなる地域循環型事業で、国の交付金や官民のファンドからの出資など、期待も大きく、南関町も積極的に支援している。そこで、循環型社会を目指し、バイオマスの活用を推進している本県としても、全国へと大きくアピールできる事業と思うが、県はこの事業をどのように捉え、応援しようとしているのか、環境生活部長に尋ねる。

答弁 (農林水産部長) 中国からの安価なたけのこの輸入増加と竹の代替品の増加により、生産者の意欲減退などで竹林の整備が徐々に行われなくなり、荒廃竹林が多く見受けられるのが現況。荒廃竹林の増加は、林業経営、景観、防災面からも問題であり、竹林の適正な管理や利活用を促すことで解消を図ることが必要。このため、ハード面では、竹林の園地化や作業道の開設、加工施設、加工機械などの導入を支援し、ソフト面では、都市圏における竹製品等の販路拡大のPR等により、生産者の意識の高揚にも努めている。今後も、竹材の新た

な活用も図りながら、竹林の適正な管理と利活用が図られるよう、関係団体や市町村と連携して取り組んでまいらる。

答弁 (環境生活部長) 今回のビジネスモデルは、「竹」を大量に活用するもので、荒廃竹林の対策に大きな効果を発揮することが期待される。また、新建材の製造のほか、端材もバイオマス発電に利用するなど、環境にやさしい事業内容である。さらに、竹の伐採や収集は、地元の高齢者など住民が中心となり、近隣市町村や事業者とも協力・連携しながら展開するなど、地域の資源活用と地域の雇用・経済が一体となって自立する事業で、国の「一億総活躍プラン」にも適う、まさに「地方創生」のモデルとなるもの。県としては、各部局が連携し、今後も必要な協力を行って参りたいと考えており、この事業をはじめ、バイオマス活用の様々な取組みや廃棄物の適正処理、3Rを推進し、循環型社会の実現を目指してまいらる。

5 小学校の英語教科化に向けた取り組みと今後の課題

質問 文部科学省は、小中学校の新学習指導要領案を公表したが、注目されるのが、小学校3年生から導入の外国語活動と小学校5年生から導入の教科としての英語である。全面実施は、平成32年度であるが、①小学校教員の英

語指導力の向上や英語を専門とする教員の確保等、現在の状況も含め、3年後の全面実施に向けた取り組みは、②英語の教科化に伴う授業時間の増加分について、どのような方策を考えているのか、③英語教科化等の先行実施に関して、学校間に取組の差が生じ、平成32年度からの円滑な全面実施が懸念されることについて、県教育委員会としてどのように考えているのか、以上3点、教育長に尋ねる。

答弁 (教育長) ①各学校における校内研修等を充実させることにより、全ての小学校教員の英語指導力の向上に取り組む。また、英語を専門とする教員を、これまで70人を採用。来年度は新たに8人の採用を予定。より専門性の高い人材の確保に努めてまいらる。②授業時数の確保は、各小学校が創意工夫を行い対応されるが、苦慮することも予想されるため、説明会等の実施など、適切に対応できるよう支援してまいらる。③教育課程特例校が、その成果等を県内に普及。本年度は、教科化に対応した本県独自の英語教材を全ての小学校に配布している。国は、円滑な移行のため、平成29年度に指導内容を示す予定で、県教委としては、平成32年度からの全面実施が円滑に行われるよう、学校現場を支援してまいらる。

6 県道玉名山鹿線江田交差点の改良(要望)

県議会通信
お読みでない方はお知らせ下さい。直ぐにお届けします!



自分自身のことをポジティブだと自称する私。あくまでも「自称」。敢えて周りに確認したことがないから。それでも、何事も都合良く前向きに捉える性格だし、ネガティブな表現には敏感に反応もするので、そつだと思っている。そんな私が最近敏感に反応したものの。それは、地元紙の朝刊で始まった「荒尾育ちの芸人ヒロシさんの連載。テーマが「幸せになる!?ネガティブ道」。テーマに敏感に反応。ところが、中々どつて面白い。今では、それを読む事が朝の楽しみ。世代が同じで共感する部分も多く、親近感も湧く。考えてみれば、ヒロシさんらしいテーマでもある。実は、そのらしいテーマで荒尾玉名地域もPRして貰っている。それが「あらためて荒尾です。二市四町を「ネガティブ」に盛り上げるとです。キャンペーン」という動画。三月一六日に公開が始まり、これまでの再生回数は約二万回。現在じわじわ浸透中。こちらでもヒロシさんらしいが如何なく発揮され中々面白い。公開は来年の三月一四日まで。是非多くの方々に観て欲しい動画。ところどころの疑問が、ネットに接続できない場合は「いやいやそんな後ろ向きな考えでどうする!今どきネット云々と言う人もいないし、効果も絶大。やっぱ「自称」かも...」

編集「幸喜」